

第3期させぼ観光大使

内川さんと諸國さん



7月21日(火)、佐世保の魅力をもっとPRする「第3期させぼ観光大使」に就任する内川優依さん(写真左)と諸國麻椰さん(写真右)が市役所を訪れ、朝長市長に意気込みなどを話しました。

させぼ観光大使は佐世保観光コンベンション協会や佐世保商工会議所などをつくる選考委員会が公募し、今回は過去最高となる37人の応募があり、面接などの審査を経て2人が選ばれました。

内川さんは市内の高校を卒業し、県外の大学へ進学後、十八銀行に就職。「展海峰などの展望台から見る九十九島が好きで、その美しさを多くの人に伝えたい。元気いっぱい笑顔で頑張ります」と抱負を述べました。

米国人の母親を持つ諸國さんは長崎県立大学に通う現役の大学生。「佐世保はとても国際色豊かな街だと思います。英会話が得意なので、外国人観光客にも積極的にアピールしていきたいです」と意気込みを話しました。

朝長市長は「ことしは西海国立公園が60周年を迎える記念すべき年。関係者の皆さんと一体となって、九十九島の認知度向上に取り組んでいますので、お二人も積極的なPRをよろしくお願いいたします」と激励しました。

観光大使の任期は8月2日から2年間となっており、今後、市内外のイベントなどでさまざまな活動を行いますので、市民の皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



フラワーデザイン  
世界4位 中村有孝さん



させぼ5番街でフラワーアレンジメントのデモンストラーションを行う中村さん(7月25日)

7月13日(月)、本市出身でフローリストとして国内外で活躍している中村有孝さんが市役所を訪れ、ドイツで開催された「インターフローワールドカップ」で4位となったことなどを朝長市長に報告しました。

中村さんは「世界大会に挑戦することが長年の夢だったので、夢が叶い、良い結果を残せて本当にうれしいです」と感想を述べました。朝長市長は「日本一もすごいですが、世界大会4位という成績は本当にすばらしい。市民の皆さんも喜んでいてと思います。今後も期待していますので、頑張ってください」と話しました。

インターフローワールドカップはフローリストの世界一を決める大会。4~5年に1度開催され、第14回

となる今回はドイツのベルリンで6月11日~13日まで開催され、26カ国の代表が参加しました。

中村さんは福岡県の生花店に勤務後、佐世保で独立。現在は東京のアトリエ「flower's laboratory Kikyū」を拠点に、テレビスタジオやイベントの装飾、講習会など全国各地で幅広く活躍中です。

また、日本花職人杯グランドチャンピオンシップ優勝(2013年)や九州花卉装飾選手権優勝(内閣総理大臣賞、2009年)など、業界屈指のコンテストで数多くの受賞歴があり、今後も日本を代表するフローリストとして活躍が期待されています。

中村さん公式サイト <http://kikyū-ari.jp/>

